

令和6年5月13日

松阪市議会議長 坂口 秀夫 様

公明党 奥出かよ子

政友会 堀端 脩

## 視察報告書

令和6年4月26日(金)と令和6年4月30日(火)の2日間、鈴鹿市と津市に  
防災対策について視察に行ってきましたので、下記のとおり報告いたします。

### 記

#### 1. 参加者

公明党 奥出かよ子 政友会 堀端 脩 (2名)

#### 2. 場所

鈴鹿市役所・津市役所

#### 3. 対応者

危機管理部 防災危機管理課

#### 4. 視察事項

防災対策について

- ① 自助・共助・公助について
- ② 福祉防災の政策はどのような計画と実施をされているのか
- ③ 避難所に関する運営の問題点
- ④ 在宅避難者の把握について
- ⑤ 被災を受けた方に対しての市の対策はどのようなものがありますか
- ⑥ 市の審議会、懇談会等の女性の比率は

#### 【内容】

#### ●鈴鹿市 (奥出かよ子 堀端 脩)

自助 災害時要援護者宅家具固定事業

木造住宅耐震診断事業 (防災→建築部門へ)

木造住宅耐震補強計画事業補助制度 (補強) (除去)

民間建築物耐震診断事業補助制度

ブロック塀等除去工事業補助制度

共助 地区防災計画作成支援

自主防災組織活性化事業補助金

防災研修会（防災訓練・タウンウォッチング・DIG・HUG等）

災害時協力井戸

防災協定（172協定）

緊急指定集会所の耐震補強事業

津波避難施設整備事業補助制度

避難所開設オリーブボックス

共助への  
施策

## 避難所開設運営オリーブボックス

大規模災害時は、避難者の自治による避難所の開設と初期運営が求められる。そのため、**避難所の知識がない人**でも避難所の開設・初期運営ができるようにすることが課題となる。



避難所の開設及び初期運営に必要な手順、マニュアル、資機材等をまとめたオリーブボックスを各基幹収容避難所に配備。

特徴として、オリーブボックスは必要なものを入れただけのものではなく、必要なものを必要な順番で入れています。

4

公助 情報伝達手段の確保

防災行政無線、SNS（LINE・X・Facebook）、緊急速報メール、ラジオ、テレビ、鈴鹿減災プロジェクト、ヤフー防災アプリ等・

避難所の整備

停電時電源切替装置、発電機、マンホールトイレ、ダンボールベット等の資機材の整備、防災井戸の整備

備蓄

食料（アレルギー対応）今年度より予定、衛生用品、感染症対策物資等

防災情報の提供

鈴鹿市総合防災マップ（冊子・WEB）R5全面改訂（外国語対応）

防災備蓄品・非常持ち出し品チェックリスト

災害時要援護者向け施策

避難確保計画に基づく避難訓練の補助

個別避難計画の作成

福祉避難所の確保

被災者支援

被災者支援システム

外国人避難者向け施策

翻訳タブレット、避難所ピクトグラム

災害時医療体制の確保

救護所開設・運営訓練（医師会連携して訓練を進めている）

## 質疑応答

Q 避難所の数 A 93カ所

Q マンホールトイレの数 A 228基

（車いす対応(有) 下水道整備と共に。(国の補助)

Q 避難タワー公設か A 公設13

総数A31

※小学校、ショッピングモール等外付け階段増設等

Q 避難訓練等の防災マップ A WEB版で活用

Q 市からの共助の働きかたは A 地域づくりの協議会（全体会議）意識の醸成、  
地区防災計画づくりの声かけからの。

広く人が集まるところで発信、SNS発信

Q ダンボールベットは A 分散備蓄 パイプベットも活用している。

Q 災害時の要援護者対策 A 福祉部局と連携、事業進めている

台帳の整備、避難確保計画支援、福祉施設の  
防災教育、訓練実施、福祉避難所の確保計画支

援

家具固定事業、個別避難計画今年度より（3か年）

Q おむつの備蓄は

A 本庁で備蓄（3F）少量指定避難に配備

Q 避難所運営の問題点

A 避難所開設運営オリーブボックス配備  
（避難所の開設及び初期運営に必要な手順、マニュアル、資機材等をまとめた。必要なものを必要な順番でいれてある）

Q 在宅避難者の把握は

A 避難所外避難者が自ら基幹収容避難所に避難者として登録する。（これからアナウンス）  
能登からの学び参考に



※自治会の避難所耐震化している。

※車中泊の場所進めている。

主な被災者への支援

活動を円滑に行うため、多くの行政機関や民間事業者等と防災協定を結んでいる。  
医療・救護（5）、飲料水（7）、衛生清掃・遺体対応（7）、応急・復旧（19）、  
食料・生活用品（11）、消防（4）、避難所支援（11）、福祉避難所（25）  
など合計172協定

令和6年度にこれらの支援活動を見直し、より円滑にするため、**受援計画**を策定予定

※三重防災コーディネーターと定例会（毎月）防災啓発をお願いしている。

防災会議の女性登用率推移

平成25年 2.6%女性1名

令和4年 40%（全国7位）

※各組織が意識を変える。あて職に限定せず、適任とされる女性の推進を依頼

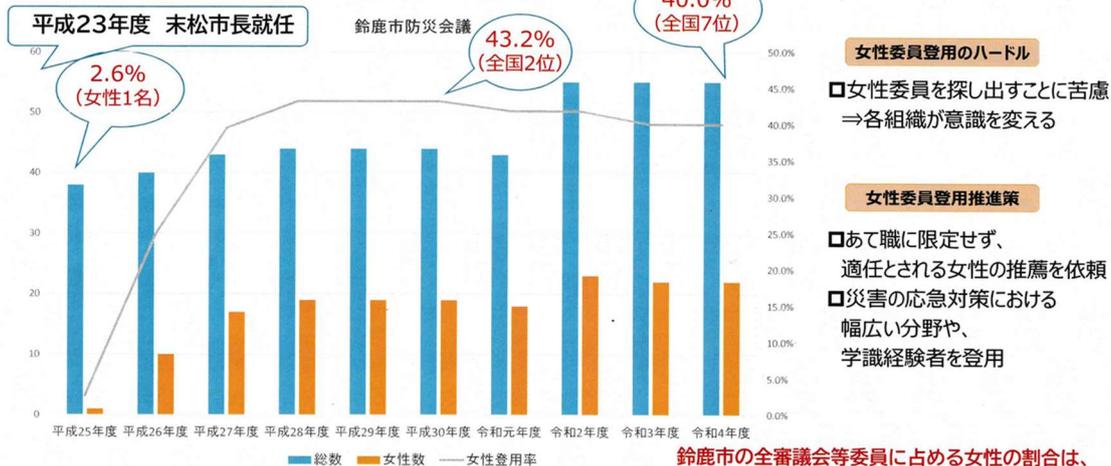
※災害の応急対策における幅広い分野や、学識経験者を登用

鈴鹿市の全審議会等委員に占める女性割合は、令和4年（2022）年度に全国第11位

（43.4%）※女性委員登用率

## 鈴鹿市防災会議

### ✓ 鈴鹿市防災会議の女性登用率推移



鈴鹿市の全審議会等委員に占める女性の割合は、令和4（2022）年度に全国第11位（43.4%）※女性委員登用率

●津市（奥出かよ子）堀端脩欠席

自助 普段から備えをしてください。と啓発をしている。

共助 各避難所2名ずつ担当

トップランナーの南ヶ丘地域を見学推進、中村会長中心に毎月開催。周知啓発

行政 テーブルを用意 情報提供 支援

総会等において時間を作ってもらっている。

1年に一回要支援者名簿を更新して提供している。名簿を基に時間を作ってもらう。

※高台、沿岸部と共に避難訓練をしている。

公助 172カ所避難所に対して、職員2名3交代で配置、自宅近くを考慮する訓練等も参加

避難所外避難は登録して頂きたいと地域防災計画に位置付けをした段ボールベット10基配置、市内にベッド事業所がある  
(組み立て訓練もしている)

女性比率

防災審議会女性比率 7/43 (16%)

課題である

ペット避難所

172の指定避難所に調査 170同行避難可能  
同伴避難はこれからである。

防災士・三重防災コーディネーターとの連携

今はない

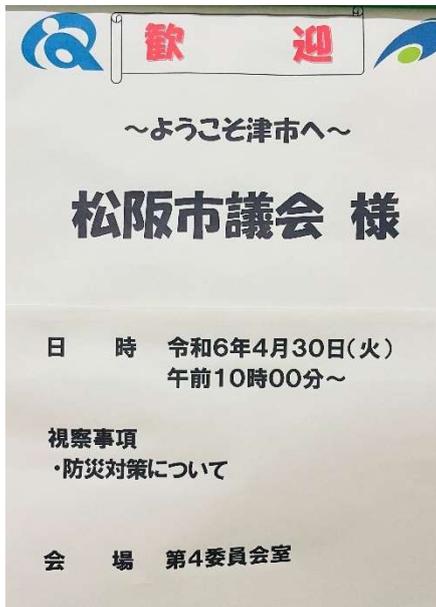
今後マッチングをしていきたい

防災訓練等は声をかけている

外国人に対する対応

お知らせカード 絵カード 5か国言語対応

国際交流の部署 防災訓練 外国人向け防災メール多言語版登録



所感（ 奥出かよ子 堀端 脩 ）

この度の鈴鹿市への視察は、私（堀端脩）にとりまして約10年ぶりとなり、当時を思いだすと、福祉防災面に全般に大変積み重ねてこられている事に、感銘と合わせて学ばせて頂いた事を持ちかえって、我が市の防災活動に活用できるよう提案して参りたいと思いました。中でも防災の基本であります防災施策の、自助・共助・公助の説明の中で、行政からの提案として取り組まれた、避難所開設運営の「オーリーブボックス」を各指定避難所に配置をしている。

誰が来ても、避難所に避難したら、「オーリーブボックス」を開けて、その指示どおりにする。大変丁寧でわかりやすいと感じた。

また公民連携して地域の防災士・三重防災コーディネーターとの月1回の定例会を開催している。意見交換は市の防災力を高める上で、とても重要であり素晴らしいことである。

そして、防災会議での女性登用比率が40%の全国7位で、女性の声も上げやすい環境であることがわかる。松阪市に於いても、現状を確認しながら一つ一つ提案し進めて参りたい。

また、津市は、自助・共助・公助を進める上で、どこも同じような課題を抱えているが、そんな中、行政主導で、2名の職員の方を3交代で地域に担当をつけている。避難訓練等も共に参加している。そして1年に1回の要支援者台帳を更新してお渡しする機会や、自治会の総会等の時間を利用し防災力を高めている。

特に進んでいるトップランナーの防災力の高い地域の見学会を実施する等共助に

対する働きかけをし、防災力の向上を図っている。

松阪市に於いても参考すべき点を議員の立場で提案して参りたい。

以上